

大学生の自己教育力に関する研究（8）

高校時代の学習指導方法との関係

石田 潤

清水益治

富永美穂子

森 敏昭

（神戸商科大学）（大阪樟蔭女子大学）

（広島大学）

目的 先報では、大学生の自己教育力には、出身高等学校が、公立進学校か、公立普通校かによる違いがあることを示した。では公立の進学校と普通校では、学習指導方法にどのような違いがあるのでしょうか。本研究では大学生に高校時代の教育を振り返ってもらうことで、公立の進学校と普通校の学習指導方法の違いを検討する。

方法 調査対象 西日本にある7つの大学の学生計789名（男248名、女541名）。

指導方法の尺度 梶田ら(1984)によるP T T尺度を用いた。この尺度は、下に示すように2つの相反する学習指導方法を提示し、そのどちらに自分の受けた指導が近かったかを6段階で評定するようになっている。学習指導方法の対は、以下の5つの領域で計40対からなる。①学習の対人的・社会的側面（対の数7）。②学習の計画性（9）。③学習の手順・進め方（13）。④学習の柔軟性・固執性（5）。⑤学習の評価・テスト（6）

手続き P T T尺度と他の尺度を組み合わせた冊子を作成し、平成12年12月から13年1月にかけて、各大学の教室で実施した。

結果と考察 公立進学校の出身者351名と公立普通校の出身者241名についてP T T尺度の各対にお

ける平均点の差をも検定したところ、以下の9対で有意差があった（ゴチック体は、進学校出身者が近い方を示す）。なお、かつこ内に示したように、平均値の差は小さいので、例えば、進学校では「自分ひとりで学習する」ように指導され、普通校では「人についたり、学外の教室に通ったりして学習する」ように指導されているとは言えない。しかしながら、進学校の方が普通校よりも、どちらかといえばゴチック体の方向で指導がなされていると考えることはできよう。

次に、このような指導方法の違いが自己教育力に及ぼす影響を調べるために、個人ごとに9対の合計点を算出した。この合計点は9点から54点までの間に分布し、低得点ほど進学校の指導方法に近いことになる。合計点の低い者から約4分の1を進学指導群（9～24点、178名）、高い者から約4分の1を普通指導群（43～31点、198名）とした。表1は両群の領域ごとの自己教育力の平均得点（標準偏差）およびt検定の結果を示したものである。合計、課題意識、主体的思考、自己評価では進学指導群の方が普通指導群よりも自己教育力の得点が高かった。ゴチック体で示した学習指導方法が自己教育力の育成に有効であると言える。

「自分ひとりで学習する」(2.8)－「人についたり、学外の教室に通ったりして学習する」(3.1)。「かならず学習の計画を立てる」(2.7)－「必要におうじて、テストの時など、学習の計画を立てる」(3.1)。「予定通りできたかどうか、計画をいつもチェックする」(2.8)－「あとのチェックよりも、これからの学習について考える」(3.0)。「まず、実例や問題から入り、後から一般的な原理にまとめておぼえる」(4.4)－「初めに一般的な原理を理解し、後から実例や問題に応用する」(4.7)。「予習を中心に学習する」(3.9)－「復習を中心に学習する」(4.4)。「好きなところ、重要なところ、分からないところから学習する」(2.8)－「本（教科書や参考書）などの順序にそって学習する」(3.2)。「もっとよい学習の仕方はないかあれこれ考える」(2.5)－「どのように学習するか、その仕方にはこだわらない」(2.7)。「問題のむずかしい時は、あきらめなくて、ねばりよく考える」(3.0)－「問題がむずかしい時は、ガイドやヒントや答えを見て、早く理解する」(3.3)。「テストの間違いは、きちんとあとで直しておく」(1.3)－「テストの間違いにとらわれず、さきへ学習を進める」(1.5)。

表1. 領域ごとの平均得点（標準偏差）

	課題意識	主体的思考	学習の仕方	自己評価	計画性	自主性	自己実現	合計
進学指導	2.5(1.3)	2.9(1.4)	3.1(1.1)	3.3(1.2)	2.7(1.5)	2.4(1.3)	3.8(1.3)	20.8(5.7)
普通指導	2.2(1.4)	2.5(1.4)	2.9(1.1)	3.0(1.2)	2.4(1.5)	2.3(1.3)	3.6(1.4)	19.1(5.9)
t	2.25*	2.72**	1.61	2.21*	1.90	0.19	1.52	2.83**

* p<.05 ** p<.01

文献：梶田正巳・石田勢津子・宇田光(1984)「個人レベルの学習・指導論 (Personal Learning and Teaching Theory)」の探求－提案と適用研究－ 名古屋大学教育学部紀要(教育心理学), 31, 51-93.